

冬越しをする生物

■春を待つ生き物たち

2月26日、大潮の干潮時に干潟を散策した。大きく潮が引いた時間であるが、干潟内と外部の水の流れが遮断されてはいなかった。(Fig.7.8)

ユリカモメやヒドリガモ、ウなどの鳥類が目につくが、泥の中や石の下でも様々な生物が春を待っている。これまで見られなかったガザミやフトヘタナリの越冬も確認された。



Fig.1 ガザミ (オス)
干潟の泥中で越冬していた

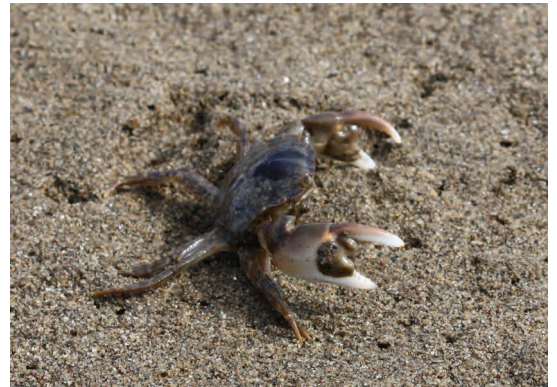


Fig.2 ケフサイソガニ (オス)
干潟の泥中で越冬していた大型の個体



Fig.3 フトヘタナリ

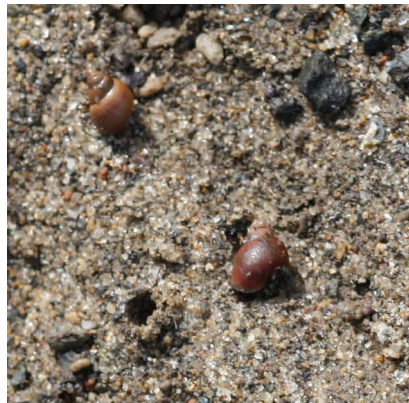


Fig.4 アスファルトの板の下で越冬するカワザンショウガイ



Fig.5 小型のケフサイソガニは石の下で越冬している



Fig.6 石の下にいたゴカイの仲間



Fig.7 潮の引いた干潟



Fig.8 干潮時における干潟と外部の水の流れ